

東海財界倶楽部例会開催 ピアニストを迎え映画音楽と過ごす

中部財界フォーラム社主催の異業種交流会「東海財界倶楽部」の第二七回例会が九月三日、名古屋市中区錦三のアパホテル名古屋屋錦EXCELLENTで開かれた。「癒された時間でしたね」。そんな感想が交わされ経済団体の勉強会としては異例の催しとなった。



ピアニストの吉川順子さん

企業家の集まる勉強会といえ、役所や企業、団体の幹部を講師に招いてのお堅いイメージが普通だ。ところが、今回は気鋭の女性ピアニストを招いてのミニ・コンサート。日頃の経営ストレスを解消していただくという狙いで、出席した約三〇人の会員も大



さまざまな映画音楽に耳を傾けていた

満足だった。

講師は吉川順子さん。ヤマハ音楽院を卒業、地元CBCテレビの「イカすバンド天国」や東海テレビの「鶴瓶の音楽に乾杯」などに出演。女性ラテンバンド「マリアエレナ」の一員として中国の天津文化芸術祭にも出演経験がある。現在はヤ



乾杯の発声をする山下三男さん

マハ上級科、マスターコースで後進育成に取り組んでいる。

コンサートのテーマは映画音楽。ニノ・ロータの「太陽がいつぱい」や「ロミオとジュリエット」、ヘンリー・マンシーニの「シャレード」や「ひまわり」など、昔懐かしい映画音楽を次々と披露。わずか四五分の演奏時間だったが、巨匠たちの作曲秘話など、吉川さんの巧みな解説と、映画の一シーンを思い出させるような情緒たっぷりな演奏に会員たちはうっとり。その昔の思い出にもたっぷり浸っているようだった。

コンサートの後に食事が開かれた。会員を代表してホクセイ・山下三男さんは「私も若い時は、太陽がいつぱいのアランドロンに似ていると言われました」と、ユーモアたっぷりの乾杯のあいさつで会場を沸かせていた。

東海財界倶楽部は、愛知、岐阜、三重を拠点に活躍する企業・団体のトップを集めた異業種交流会。経営者同士の情報や知識交換、コミュニケーションの場として活用されている。